

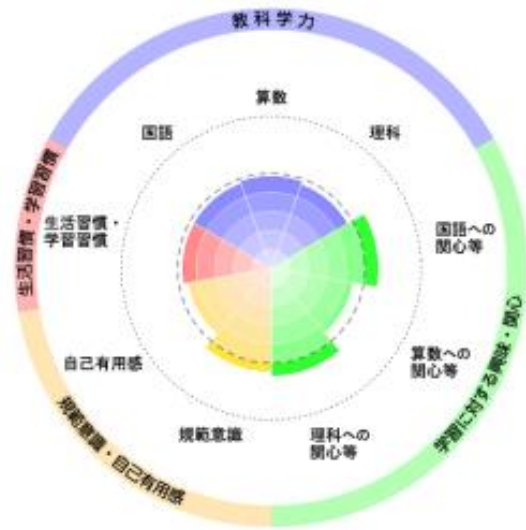
令和4年度 全国学力・学習状況調査 大門小学校の結果

1 教科別学習状況調査結果（※点線が平均値）

〈全国基準〉



〈神奈川県基準〉



〈国語 領域別平均正答率〉

	大門	神奈川	全国
国語全体	62.0 %	65.0 %	65.6 %
話すこと・聞くこと	60.0 %	66.3 %	66.2 %
書くこと	46.1 %	47.9 %	48.5 %
読むこと	64.4 %	69.5 %	66.6 %
言語事項	72.9 %	69.4 %	73.5 %

〈国語への関心に関する質問への回答状況〉

	大門	神奈川	全国
国語の勉強は好きですか。	69.1 %	59.9 %	59.2 %
国語の勉強は大切だと思いますか。	96.8 %	93.9 %	93.3 %
国語の授業の内容はよくわかりますか。	84.0 %	85.0 %	84.0 %
国語で学習したことは、将来役に立つと思いますか。	94.7 %	92.0 %	91.8 %

※A（思う）+B（大体思う）の割合

〈算数 領域別平均正答率〉

	大門	神奈川	全国
算数全体	62.0 %	64.0 %	63.2 %
数と計算	67.8 %	69.4 %	69.8 %
図形	61.1 %	64.9 %	64.0 %
変化と関係	51.4 %	53.3 %	51.3 %
データの活用	66.3 %	69.5 %	68.7 %

〈算数への関心に関する質問への回答状況〉

	大門	神奈川	全国
算数の勉強は好きですか。	56.4 %	63.1 %	62.5 %
算数の勉強は大切だと思いますか。	92.5 %	94.3 %	94.2 %
算数の授業の内容はよくわかりますか。	74.5 %	81.2 %	81.2 %
算数で学習したことは、将来役に立つと思いますか。	93.6 %	93.2 %	93.3 %

※A（思う）+B（大体思う）の割合

〈理科 領域別平均正答率〉

	大門	神奈川	全国
理科全体	60.0 %	63.0 %	63.3 %
エネルギー	48.9 %	51.8 %	51.6 %
粒子	53.8 %	59.5 %	60.4 %
生命	72.7 %	75.6 %	75.0 %
地球	61.3 %	64.9 %	64.6 %

〈理科への関心に関する質問への回答状況〉

	大門	神奈川	全国
理科の勉強は好きですか。	83.0 %	79.7 %	79.7 %
理科の勉強は大切だと思いますか。	90.4 %	86.0 %	86.5 %
理科の授業の内容はよくわかりますか。	89.4 %	89.0 %	88.5 %
理科で学習したことは、将来役に立つと思いますか。	83.0 %	76.3 %	77.2 %

※A（思う）+B（大体思う）の割合

〈国語 項目別の結果分析〉

【国語】

全体において、全国及び神奈川県の前平均正答率をやや下回っている。特に「書くこと」の「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」設問については正答率 30%と低い結果となった。また、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う」設問では、全国平均正答率 65.2%に対し、大門平均正答率 46.7%であった。

国語への関心に関する質問への回答状況では、「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は大切だと思いますか」に関して「思う」「大体思う」が全国・神奈川平均を上回った。「国語の授業の内容がよくわかりますか」「国語で学習したことは、将来役に立つと思いますか」に関して「思う」「大体思う」という回答が多く見られた。4年生と5年生に本校の重点研究として国語科の研究をしたことが学習意欲にもつながっていると考えられる。

〈算数 項目別の結果分析〉

【算数】

全体において、全国及び神奈川県の前平均正答率をやや下回っている。特に「図形」に関する設問の中で、「示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す」設問が平均を下回った。また、「果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ」設問については全国の前平均 21.4%は上回ったものの、正答率 23.3%と低い結果となった。

算数への関心に関する質問への回答状況では、「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切だと思いますか」に関して「思う」「大体思う」が全国・神奈川平均を下回った。また、「算数の授業の内容がよくわかりますか」への回答状況も平均を下回ったが、「学習したことは将来役に立つと思う」の回答状況は平均とほぼ同程度であった。

〈理科 項目別の結果分析〉

【理科】

全体において、全国及び神奈川県の前平均正答率をやや下回っている。特に「粒子」に関する設問の中で「水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している」を問う設問は全国の前平均を大きく下回った。また、「問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く」設問については平均を下回り、正答率も 30%と低い結果となった。

理科への関心に関する質問への回答状況では、「理科の勉強は好きですか」「理科の勉強は大切だと思いますか」「理科の授業の内容がよくわかりますか」「理科で学習したことは、将来役に立つと思いますか」に関して「思う」「大体思う」が全国・神奈川平均を上回った。実験等体験的な学習を通して、学習意欲が高まったと考えられる。今後は、意欲を教科学力につなげていけるよう手立てを考えたい。

〈課題と具体的取組〉

〈国語・算数・理科における対策〉

【国語】 課題のある資質・能力 (① ②) 後期の取組 (1) (2)

- ①文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること
- ②学年配当漢字を読むこと。また、学年配当漢字を書き、文や文章の中で使うこと
 - (1) 昨年度から取り組んでいる「作文」に継続して取り組むことで、文章の構成を理解する。さらに、作文の内容を指定したり、一つの考えに対する意見文の課題を出したりすることで、目的に沿って自分の考えをまとめる活動を取り入れる。また自分の考えを文章で表すだけでなく、交流する活動を取り入れることで、文章表現のよいところに気づけるようにする。
 - (2) 授業時間内に加え、朝学習や家庭学習の中でも漢字学習を取り入れ、基礎的・基本的な能力の向上を図る。文章の中で漢字を使うよう、普段の学習から漢字を取り入れる指導をしていく。

【算数】 課題のある資質・能力 (① ②) 後期の取組 (1) (2)

- ①指定された図形を構成する要素や性質に着目して、かくことができる正しいプログラムを導き出すこと
- ②日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと
 - (1) 授業時間内に加え、朝学習の中にプログラミングを取り入れ、図形の正しいかき方を理解する。
 - (2) 単位量当たりの大きさに関係する単元として、『比と比の値』や『比例と反比例』の単元の活動の充実を図る。単元の学習を進める中でも、考えのもととなる単位量当たりの大きさの学習の習熟を図る。

【理科】 課題のある資質・能力 (① ②) 後期の取組 (1) (2)

- ①学習したことを日常生活との関わりの中で捉え直そうとすること
- ②実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつこと
 - (1) 実験結果や考察から、日常生活へつなげて確認することで、授業時間内で学習した内容や知識と自然の事象との関連を理解する。
 - (2) 実験結果から自分で考察をまとめる活動と併せて、共有し、自分の考えと比較する時間を設けることで、問題を分析、解釈する力を高めていく。

2 生活習慣 学習習慣（表の数字は「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童の割合％）

項目	質問内容	大門	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	93.6	94.4
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	82.0	81.5
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	77.7	90.4
(4)	携帯電話やスマホ、PCの使い方で、家の人と約束したことを守っていますか	75.6	71.5
(9)	将来の夢や目標をもっていますか	73.1	80.3
(10)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	84.0	87.2
(11)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	74.5	72.5
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	92.8	96.8
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	74.5	73.5
(18)	友達と協力するのは楽しいと思いますか	95.7	94.0
(20)	家で計画を立てて勉強をしていますか	70.2	71.1
(21)	学校の授業時間以外に1日にどれくらいの時間勉強をしますか（1時間以上の割合）	56.4	59.4
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	74.7	51.3
(32)	学校でICT機器をどの程度使用していますか（よく使う割合）	91.5	58.2
(36)	学習の中でICT機器を使うのは勉強に役立つと思いますか	94.6	94.4
(45)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	83.0	72.7

〈生活面の結果分析と対策〉

項目	分析内容	対策
(1)(2)(4)	規則正しく、健康的な生活習慣を身に付けている子どもが多い。（元気がかびか週間の効果・成果）	
(9)	自分自身がなりたい姿や未来像について、思い描く機会が少ない。	ESD、特別活動、行事、卒業に向けた活動を通して、自身の未来像を描く機会を意図的に設定する。
(20)(21)	学校の授業時間以外の学習量は、平均値と比較して少なく、計画を立てて臨めている児童も少ない。主体的に学びに向かう姿勢に課題がある。	学習を通して身に付ける力（資質・能力）は何かを、子ども自身が意識できるような授業づくりに努める。課題の明確化や振り返りを大切にし、学び方を学び、学びを実感できる子どもの姿をねらう。自主学習の内容や家庭学習への取組時間の見直しを図る。
(32)(36)	ICTの使用頻度の高さに伴い、学習に役立つ実感をもつ子どもが多い。	
(30)(45)	SDGsを意識した取組や、大門フェスティバルを通して地域や社会などの広い視点をもって学習に取り組んでいる。	